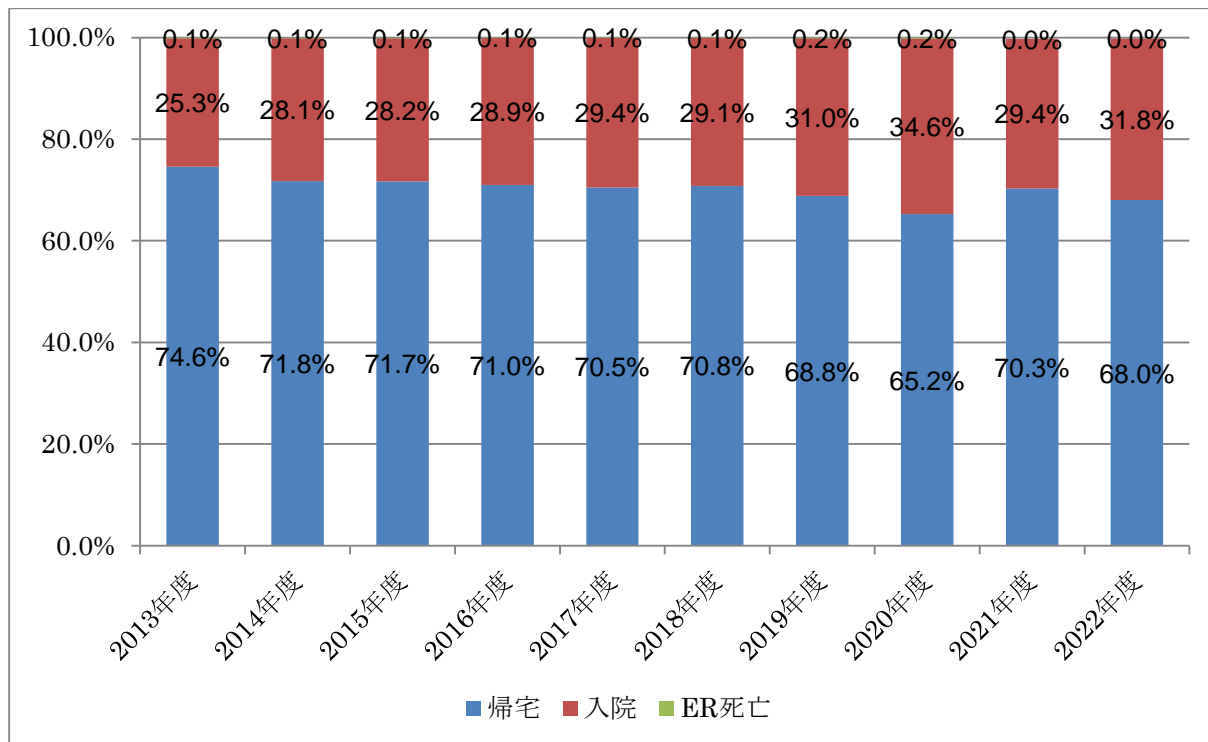


救急外来受診患者における入院割合



救急外来を受診する患者は、救急車来院に代表される救命医療を必要とする患者と、walk in で来院される患者に分かれる。当院では、24 時間体制で1次救急から3次救急までの全ての救急患者を受け入れており、軽症のため自宅への転帰となる患者は、救急外来受診患者全体の約68%となっている。

経年的経過を鑑みると、2013 年度以降の救急外来の患者受入れ体制の強化に伴い、重症患者が増加し入院患者割合は増加傾向にあったが、近年は約30%で一定推移をしている。

地域の救急医療を担う特定機能病院である当院の役割を果たすため、救急隊との連携による3次救急の重症患者受け入れを推進する必要がある。

データ提供 医療事務室救命管理課